

「宮崎県防災の日フェア」に出展

～ご自宅や職場の津波リスクをハザードマップで確認! 早期避難の重要性を啓発～

日本損害保険協会九州支部宮崎損保会(会長:米本 真也 損害保険ジャパン株式会社 宮崎支店長)では、5月28日(日)に宮崎市内の商業施設で開催された宮崎県危機管理局主催の「見て、聞いて、体験しよう! 宮崎県防災の日フェア」にブースを出展しました。

本イベントは、「より多くの人に防災に触れてもらい、興味関心を持ってもらうこと」を目的としています。宮崎県は南海トラフ地震等による被害を受ける可能性が高いことから、宮崎市やその近郊の津波ハザードマップを使用して、来場者にご自宅や職場等の津波リスクについて確認いただきました。

当ブースでは、津波浸水地域に住宅等がある方に対して、南海トラフ地震の津波リスクをご説明し、「揺れは小さくても1分以上続く場合には、津波が来る可能性、迷わず避難」の文章を完成いただくクイズにお答えいただくなど、早期避難の重要性や、地震リスクへの備えの必要性に関する理解をより一層深めていただきました。参加者からは、「揺れが小さくても、津波が来る可能性があることは知らなかった。」や、「地震や津波に備えるために、地震保険に入っています。」といった声がありました。

宮崎損保会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただき、必要かつ十分な地震や風水害に備える保険等に関して普及・啓発活動を行っていきます。



説明の様子



出展したブース



ブース会場の様子



地震体験ができる起震車